様式３(2020.08改)

作成日　令和4年　2月 10日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391400260
事業所名	グループホームファミリア神の倉

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	散歩で挨拶を交わす顔なじみもいます。宅地化が進む地域ですが、近隣には農家もあり、収穫のお手伝いをさせてもらえたり、「欲しかったらもっていっていいよ」と声がはいるなど、昔ながらの近所づきあいがあります。また、散歩で土筆を摘んで食卓の副菜とするなど、地域に溶け込んだ活動も見られます。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	運営推進会議の開催は奇数月の第3水曜日と定めて、適切に隔月開催に至るようにしています。コロナ禍により面会中止にしていることに呼応して運営推進会議も外部者の集会を避け、本部(理事・事務局長・介護支援専門員)の協力を仰ぎ、2ヶ月毎の開催を継続しています。□	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	コロナ禍となり、地域包括支援センター紹介の「コミュニティセンターに皆で出かける」事は頓挫していますが、運営推進会議の議事録を届けて事業所の「今」を把握、理解してもらえるよう努めています。感染対策の一環で行政情報は主に配信で得ており、必要なことは電話で問い合わせるようにしています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	盛り上がりを見せている菜園は、当初土いじりが趣味という利用者の想いの実現だったのですが、思いのほか皆で「やろう、やろう」となっていて、一人の利用者の想いが皆の喜びとなっています。また、「少しでもふれあいを」と利用者から家族へ年賀状を送ったところ、「名前だけでも書いてくれて嬉しかった」と家族から歓びの声も届いています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	―	―	―	―	―	―	―	○	○	×	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○									